

# 令和5年度 山北地区まちづくり協議会 通常総会 議案書



左上：さんぽく会館オープニングイベント

「読み聞かせの実施」

(地域づくり団体との連携推進事業)

左下：大每名水まつり

「名水茶会やシャボン玉アートの催し」

(集落の元気づくり支援事業を活用)

右上：震災復興ウォーク

「防災クイズの実施」

(地域づくり団体等支援事業を活用)

右下：さんぽく小学校「地域情報PR」

「観光列車の乗客にチラシでPR」

(山北地区地域の担い手育成事業を活用)

山北地区まちづくり協議会

～ 令和5年度 山北地区まちづくり協議会 通常総会 次第 ～

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議長及び議事録署名人の選出

4 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算報告について・・・・・・・・ 2

第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について・・・・ 14

5 議長退任

6 来賓祝辞

7 閉 会

第1号議案

令和4年度事業報告及び収支決算報告について

令和4年度事業報告及び収支決算報告について、別紙のとおり報告します。

令和 5年 4月26日 提出  
山北地区まちづくり協議会 会長 板垣 純一

令和 5年 4月26日 議決  
山北地区まちづくり協議会 議長 加藤 良成

# 令和4年度 事業報告

山北地区まちづくり協議会

## 第1 協議会の運営等にかかる活動

### (1) 協議会の会議等

#### ① 監査

R4. 4. 7 出席7名（監事2名、会長、事務局長、事務局3名）事務及び会計監査

#### ② 総会（書面表決）

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、以下の経過により書面表決で実施。

R4. 4. 13 議事録署名人を選出

R4. 4. 15 理事及び委員に議案書を送付

R4. 4. 21 書面表決書提出締め切り

R4. 4. 22 以下の書面表決結果を事務局で集計

理事及び委員総数81名、書面表決書提出者数71名、内非承認及び無効は0。

R4. 4. 26 会長及び議事録署名人による議事結果確認

R4. 4. 28 理事、役員及び委員に議事結果送付

#### ③ 理事会

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、書面承認で実施。

R5. 3. 15 第1回 事業報告・収支決算見込み、第3次まちづくり計画事業実施計画について  
理事の総数56名、書面表決提出者数50名、内非承認及び無効は0。

#### ④ 役員会

R4. 4. 13 三役会 令和4年度総会について（電話にて）

R4. 6. 15 第1回 三役会 年間事業予定、学生インターン ほか

R4. 6. 22 第1回 役員会 年間事業予定、学生インターン ほか

R4. 11. 7 第2回 役員会 事業経過、これまでの取り組みから今後の取り組み ほか

R5. 2. 9 第3回 役員会 事業経過、理事会提案資料の検討 ほか

R5. 3. 22 第4回 役員会 総会提案資料の検討 ほか

#### ⑤ 委員研修会

R4. 11. 15～19 明治大学小田切ゼミ農村調査実習に関する研修

R4. 12. 17 先進地視察研修「空き物件を活用した集いの場作り」14名参加  
（新発田市「あかたにヒュッグ」、関川村「旧齋藤医院つなぐプロジェクト」）

R5. 3. 12 地域づくり楽習会

#### ⑥ 部 会

##### 【地域コミュニティ部会】

R4. 5. 23 第1回 出席9名 正副部会長の選任、今年度の事業計画、集落公民館活動に関するアンケートについて

R4. 6. 29 第2回 出席9名 中学生以上全住民アンケートについて

- R4. 12. 8 第3回 出席 7名 中学生以上全住民アンケート、支援事業の見直しについて、
- R5. 1. 30 第4回 出席 4名 全住民アンケート地区別説明会、支援事業の見直し、  
第3次まちづくり計画事業実施計画、  
今年度事業経過および次年度事業計画について
- R5. 3. 27 第5回 出席 8名 全住民アンケート地区別説明会について  
来年度の住民懇談会について

#### 【地域パートナーズ部会】

- R4. 5. 24 第1回 出席 11名 正副部会長の選任、今年度の事業計画について
- R4. 12. 14 第2回 出席 9名 支援事業の今後、団体間の連携の促進について
- R5. 2. 2 第3回 出席 8名 第3次まちづくり計画事業実施計画、  
今年度の事業経過及び次年度事業計画、  
連携共有の場作りについて

#### 【地域リーダーズ部会】

- R4. 5. 25 第1回 出席 10名 正副部会長の選任、今年度の事業計画について
- R4. 12. 15 第2回 出席 8名 地域づくり楽習会について
- R5. 1. 31 第3回 出席 10名 地域づくり楽習会、第3次まちづくり計画事業実施計画、  
今年度の事業経過および次年度事業計画について

#### ⑦広報委員会

- R4. 6. 16 第1回 今年度の「さんぼぼ」発行計画及び第34号の内容について
- R4. 10. 3 第2回 第35号の内容について
- R5. 1. 24 第3回（オンライン） 第36号の内容、行事カレンダーについて

#### ⑧まちづくり協議会助成金交付等審査会

- R5. 3. 22 集落の元気づくり・地域づくり団体活動支援事業の審査

### （3）各種会議等への出席

- R4. 6. 22 （公財）山北産業振興公社 評議委員会 会長出席
- R4. 7. 4～5 社会を明るくする運動 街頭活動 加藤副会長、小田副会長出席
- R4. 8. 25 日沿道山北地区活性化推進協議会 総会 会長、小田副会長出席
- R4. 10. 11 山北地区コミュニティスクール 第2回運営協議会 事務局長出席
- R4. 12. 6 山北地区コミュニティスクール 第3回運営協議会 事務局長出席
- R5. 1. 26 村上・岩船保護司会山北分会研修会 加藤副会長出席

### （4）その他

#### ①まち協役員と地域おこし協力隊、集落支援員との意見交換会

- R4. 7. 27 第1回 活動状況説明 10名参加  
「お互いを知る」「情報の共有」「連携」をテーマに意見交換
- R4. 11. 30 第2回 「連携」をテーマに意見交換 10名参加

#### ②市民厚生常任委員会とまちづくり協議会との懇談会

- R4. 8. 1 市民厚生常任委員会7名、議会事務局1名、まち協4名参加  
まち協の取り組み説明、意見交換

## 第2 まちづくり計画に基づく具体的取り組み

### 取り組み1 コミュニティの支援・連携の推進

取組方針 事業名	実施時期	事業内容等	備考
1-1 集落活動の支援による地域力の再生			
集落の元気づくり計画策定支援事業	通年	集落の元気づくり計画策定集落：0件	
集落の元気づくり支援事業	通年	集落等への活動助成金交付：13集落、28事業 1,671千円を交付	
集落の元気づくり支援事業（備品整備）	通年	備品活用実績：20団体53回使用	
集落公民館活動支援事業	6月7日～17日の間交付	各集落公民館等へ活動助成金を交付 28団体1,560千円（事業加算180千円については、年度末の実績を基に助成）	
1-2 集落、地域間連携の持続可能性の向上			
集落・地域懇談会の開催	通年	9月～10月にかけて全住民アンケートを実施。 回収した調査票を集計・分析し、2月に説明会を開催（5地区+山北中学校）	

### 取り組み2 各種地域づくり団体の支援・連携の推進

基本方針 事業名	実施時期	事業内容等	備考
2-1 地域活性化に取り組む団体の支援と育成			
地域づくり団体等活動支援事業	通年	地域づくり団体等への活動助成金の交付 8団体、9事業、793千円を交付	
2-2 地域づくり団体と連携を推進			
買物困難者支援事業（買い物ツアー）	6月から2月	買い物ツアー「おでかけさんぽぽ」を、他団体と連携して実施。黒川俣地区は6月15日（参加者16名）、10月14日（参加者12名）、12月15日（参加者11名）2月15日（参加者12名）実施。越沢集落は、10月19日（参加者8名）、12月8日（参加者7名）に実施。	
買物困難者支援事業（ゆり花マルシェ）	通年	ゆり花会館玄関脇のスペースに商品の委託販売を主にゆり花マルシェを開設。営業は、毎週火、木、金曜日の10:00～15:00まで。商品の種類は、食料品・日用雑貨（Yショップ）衣類・肌着等（マルシバ衣料店）、しな織り（山熊田生業の里）、雑貨（平豊店）となっている。	
地域産物流通促進事業	5月15日 6月12日 7月3日 9月18日 10月9日	個人、小規模農家の産物の集約、販売と、国道7号勝木地内のう回路跡地の利活用を促進するための軽トラ市の開催を支援	

### 取り組み3 地域人材育成の推進

基本方針	事業名	実施時期	事業内容等	備考
	地域づくり楽習会の開催	3月12日	全住民アンケートの分析結果講話、山北中学校からの地域への提案、グループトーク	
	先進地視察研修	12月17日	「空き物件を活用した集いの場作り」 新発田市「あかたにヒュッゲ」、関川村「旧齋藤医院つなぐプロジェクト」	
	共助に向けた集い場支援事業	通年	集いの場づくりのための取り組み	
3-2 地域の未来を担う子どもたちの育成				
	地域の担い手育成事業	通年	山北中学校区郷育事業と連携し、地区内各小中学校の事業を支援 中学校：花いっぱい運動、あいさつ運動のぼり旗 小学校：山菜取り体験、けんさ焼きあく笹巻づくり体験、日本国太鼓体験	

### 取り組み4 関係人口に関する事業推進

基本方針	事業名	実施時期	事業内容等	備考
	百姓やってみ隊推進事業	7月～12月	地域との関係を築く入り口として、当初は週末を中心とした全8回の農作業と各種体験活動を計画。新型コロナの影響により6月までの活動を見合わせ、7月には、昨年度までの方に参加いただき、番外編として実施。以後、日帰りのみ5回実施（詳細は別紙）	
4-2 短期的な地域滞在による関係性を構築する事業を促進				
	学生インターン事業	8月～9月	大毎にて大学生3名を受け入れて実施。	

### 取り組み5 永続的な活動を目指した組織運営

基本方針	事業名	実施時期	事業内容等	備考
	まちづくり通信の発行	年3回	まちづくり通信を発行し、山北地区全戸へ配布（村上市HPにも掲載） 第34号8/15、第35号12/15、 第36号3/15	
	集落行事カレンダーの発行	3月15日	集落活動等の情報を共有するため「さんぽく行事カレンダー」を3月15日に発行	

	ホームページ、SNS を活用した情報発信	通年	現行のホームページの活用、SNS での情報発信 Facebook：フォロワー628人（昨年度550人）	
5-2 活動拠点の整備を推進				
	拠点整備のための基金を積み立て	通年	拠点整備の実現に向け第3次計画内で検討を進める	
5-3 計画実現に向けた組織体制の再構築				
	組織体制の再構築	通年	総会・理事会・各部会構成等の在り方を再考し、より実効性のある体制づくりを検討する	



# 令和4年度百姓やってみ隊推進事業報告

山北地区まちづくり協議会

## 第1 年間計画に基づく活動

### 1. 実施期間

令和4年5月から令和4年12月まで（当初計画 全8回）

### 2. 予算額

1,051千円（昨年度1,024千円）

### 3. 構成員

・百姓やってみ隊隊員 山北地区外12名・山北地区内5名

### 4. 運営・管理

・専用地畑管理 1名

### 5. 定期活動（コロナ禍を踏まえ、開催計画を見直した活動計画）

回数	期日	実習	活動内容	参加者数
番外編	7月2日（土）	農業体験（畑）	・焼畑準備 ・収穫作業等	延べ8人
第1回	8月6日（土）	ガイダンス 農業体験（畑）	感染症の状況を考慮し中止	
第2回	9月3日（土）	農業体験（畑） 生業体験（郷土料理）	・大根種蒔き、耕起等 ・いかの塩辛、魚の開き調理体験	延べ15人
第3回	10月15日（土）	農業体験（畑） 生業体験（えごま）	・さつまいも収穫、いちご定植、 人参・赤かぶ間引き等 ・えごま体験	延べ10人
第4回	11月12日（土）	農業体験（畑） 生業体験（郷土料理）	・赤かぶ、長ネギ、人参収穫 ・たまねぎ植付 ・赤かぶ漬け体験	延べ12人
第5回	12月3日（土）	農業体験（畑） 生業体験（郷土料理）	・長ネギ、大根、白菜収穫 ・たまねぎ等の越冬準備 ・そば打ち体験	延べ12人
個別案内	5月22日（日）		大毎 田植えツアー	
個別案内	10月2日（日）		大毎 稲刈りツアー	
個別案内	2月5日（日）		大毎 鱒山清水水汲みツアー	

## 令和4年度 収支決算

山北地区まちづくり協議会

### 【収入の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 繰越金	2,054,241	2,054,241	0	前年度まちづくり協議会繰越金
2. 補助金等	8,795,000	8,500,000	-295,000	
1 まちづくり交付金	8,795,000	8,500,000	-295,000	村上市から
2 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	0	0	0	
1 賛助会費	0	0	0	
2 事業負担金等	0	0	0	
4. 事務職員負担金	0	0	0	
5. 受託金	0	0	0	
6. 繰入金	951,000	924,819	-26,181	住民懇談会推進基金 924,695円 積立金利息 124円
7. 雑収入	759	2,531	1,772	行事カレンダー 預金利息
合計	11,801,000	11,481,591	-319,409	

### 【支出の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 運営費	1,538,000	1,131,687	-406,313	
1 社会保険料	0	0	0	
2 賃金	0	0	0	
3 報償費	207,000	207,000	0	会長ほか役員の事業参加等のガソリン代等 実費弁償分として
4 旅費	0	0	0	
5 交際費	10,000	0	-10,000	慶弔費
6 消耗品費	139,000	145,678	6,678	印刷用紙、コピー用紙、プリンタトナー等
7 会議費	103,000	102,676	-324	会議時お茶代 協議会委員研修会費等
8 印刷製本費	44,000	18,150	-25,850	封筒印刷代
9 通信運搬費	114,000	113,800	-200	会議案内等郵送料等
10 手数料	2,000	524	-1,476	事業支援金振込手数料等
11 使用料及び賃借料	76,000	75,039	-961	インターネット回線使用料
12 備品購入費	200,000	174,438	-25,562	リモート会議用パソコン
13 負担金及び交付金	20,000	20,000	0	会議負担金等
14 委託料	0	0	0	
15 保険料	27,000	25,500	-1,500	ボランティア活動保険料
16 活動拠点施設費	596,000	248,882	-347,118	活動拠点施設水道光熱費、施設賠償保険料 等

2. 事業費	9,842,000	7,959,492	-1,882,508	
1 コミュニティ支援・連携の推進	5,076,000	4,348,926	-727,074	
1-1 集落活動支援による地域力の再生	3,951,000	3,424,231	-526,769	集落の元気づくり支援、公民館活動支援
1-2 集落、地域の持続可能性の向上	1,125,000	924,695	-200,305	中学生以上全住民アンケート、集落・地域懇談会
		0	0	
2 各地域づくり団体の支援・連携の推進	2,000,000	1,292,309	-707,691	
2-1 地域活性化に取り組む団体の支援と育成	1,200,000	793,000	-407,000	地域づくり団体等支援事業
2-2 地域づくり団体との連携推進	800,000	499,309	-300,691	買物困難者支援事業、地域産物流通促進
		0	0	
3 地域人材育成の推進	1,060,000	740,411	-319,589	
3-1 地域を担う人材を育成	540,000	466,310	-73,690	地域づくり楽習会、先進地視察研修、集いの場づくりに関する事業
3-2 地域の未来を担う子どもたちの育成	520,000	274,101	-245,899	地域の担い手育成事業、まちづくりへの参画支援事業
4 関係人口に関する事業の促進	1,183,000	1,006,721	-176,279	
4-1 地域の人材、生業等を活かした取り組みによる関係性を構築する事業を促進	971,000	995,601	24,601	百姓やってみ隊推進事業
4-2 短期的な地域滞在による関係性を構築する事業を推進	212,000	11,120	-200,880	学生インターンシップ事業
5 第3次まちづくり計画策定に向けた取り組み	523,000	571,125	48,125	
5-1 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供	523,000	571,125	48,125	まちづくり通信発行、行事カレンダー発行
		0	0	
6 第3次まちづくり計画策定に向けた取り組み	0	0	0	
6-1 地域に対し活動を支援するための事業を検討				
6-2 計画策定体制		0	0	
3. 積立金	400,000	400,000	0	まちづくり協議会拠点施設整備積立金300,000円 関係人口構築推進基金100,000円
4. 繰出金	1,000	124	-876	積立金利息を積立金へ繰出
5. 予備費	20,000	0	-20,000	
合計	11,801,000	9,491,303	-2,309,697	

収入	11,481,591
支出	9,491,303
差引	1,990,288

残金を次年度へ繰り越します

【積立金】

単位：円

名称	前年度末 現在高	決算年度中 増減額	決算年度末 現在高	説明
拠点施設整備事業積立金	5,804,111	300,103	6,104,214	
百姓隊施設整備積立金	435,026	4	435,030	
関係人口構築事業推進積立金	1,000,019	100,009	1,100,028	
住民懇談会推進積立金	950,000	-924,687	25,313	

令和4年度 収支決算

百姓やってみ隊

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 繰入金	971,000	995,601	24,601	まちづくり協議会会計から
2. 補助金等	0	0	0	
1 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	80,000	19,500	-60,500	
1 会費	80,000	19,500	-60,500	
2 事業負担金等	0	0	0	
4. 事業収入	0	1,100	1,100	軽トラ市等 野菜売り上げ
5. 雑収入	0	0	0	
合計	1,051,000	1,016,201	-34,799	

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 運営費	0	0	0	
1 事務局員負担金	0	0	0	
2. 事業費	1,051,000	1,016,201	-34,799	
1 活動実習費	812,000	930,182	118,182	
1-1 実習地・活動拠点管理作業報償費	534,000	761,748	227,748	実習地除草作業謝礼
1-2 実習地借上げ謝礼	18,000	18,000	0	実習地の借上げ料、水利利用謝礼
1-3 活動拠点施設	0	0	0	施設賃借料、水道光熱費、電気料、光回線等
1-4 指導員謝礼	4,000	0	-4,000	畑作業指導謝礼
1-5 機器損料	21,000	9,000	-12,000	軽トラ借上げ
1-6 需用費	75,000	66,820	-8,180	肥料、種苗、資材、燃料等
1-7 修繕費	20,000	0	-20,000	
1-8 原材料費	50,000	36,784	-13,216	電気柵補修用材料等
1-9 役務費	59,000	13,030	-45,970	隊員活動保険、郵送用切手
1-10 負担金	4,000	0	-4,000	軽トラ市出店料
1-11 備品購入費	27,000	24,800	-2,200	水中ポンプ更新
2 生業体験	239,000	86,019	-152,981	
2-1 体験料・指導員謝礼	173,000	31,800	-141,200	林業、シーカヤック、隊員企画等
2-2 材料費	66,000	54,219	-11,781	林業、釣り体験、隊員企画等材料費
		0	0	
3 繰出金	0	0	0	
4 予備費	0	0	0	
合計	1,051,000	1,016,201	-34,799	

収入	1,016,201
支出	1,016,201
差引	0

# 監 査 報 告 書

山北地区まちづくり協議会長 様

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）山北地区まちづくり協議会の事業報告、収支決算、収入・支出調書、出納簿、預金通帳並びに関係書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認めましたので、報告します。

以 上

令和5年4月6日

監事

菅原 義 栄



監事

本間 洋 一





第2号議案

令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

令和5年度事業計画及び収支予算について、別紙（案）のとおり定めたいので承認を求めます。

令和 5年 4月26日 提出  
山北地区まちづくり協議会 会長 板 垣 純 一

令和 5年 4月26日 議決  
山北地区まちづくり協議会 議長 加 藤 良 成

# 令和5年度 事業計画（案）

## 山北地区まちづくり協議会

令和5年度事業については、新たに策定した「第3次山北地区まちづくり計画」に基づき、「互いに支え合う地域づくりへ（共助の充実に向け）」のテーマに沿って、取り組みを進めます。

地域住民や各種団体等と連携を図りながら、「住民一人ひとりが主人公のまちづくり」の実現に向けて、以下のとおり具体的な取り組みを進めるとともに、計画期間中に検討するとなっている事業等についても、具体的に検討を進めます。

### 1 協議会運営等に関する活動

#### （1）総会（1回開催）

R5年4月中旬 通常総会 事業・決算報告、第3次まちづくり計画事業実施計画、事業計画・予算の審議 ほか

#### （2）理事会（1回開催）

R6年2月上旬 事業・決算報告、事業計画・予算の検討 ほか

#### （3）役員会（4回開催）

R5年6月上旬 事業展開、今後のスケジュール検討 ほか

R5年9月下旬 事業経過報告、懸案事項の検討 ほか

R6年1月下旬 理事会提案資料の検討 ほか

R6年3月上旬 総会提案資料の検討 ほか

#### （4）監査（1回開催）

R5年4月上旬 事務及び会計監査

#### （5）まちづくり協議会助成金交付等審査会（1回開催）

R6年3月上旬 集落の元気づくり・地域づくり団体等支援事業の審査（R6年度分）



## 2 まちづくり計画に基づく活動

### (1) 各地域の活動や地域の課題解決の促進を支援【地域コミュニティ部会担当】

#### ○集落活動の支援による地域力の再生

##### ①集落の活性化、地域の課題解決のための事業支援

- ・集落の元気づくり支援事業等
- ・集落懇談会の開催（モデル集落）

##### ②公民館活動支援の在り方の検討

- ・公民館活動支援事業

##### ③「共助の充実」への支援強化

#### ○集落、地域の持続可能性の向上

##### ①集落、地域の活性化、課題解決に向けた話し合い促進を支援

- ・集落・地域懇談会の開催

##### ②集落、地域の維持・活性化の推進に伴走

- ・集落支援員が中心となり事業を推進

### (2) 各種団体の活動や団体間連携の促進を支援【地域パートナーズ部会担当】

#### ○地域の活性化や地域課題解決に取り組む地域づくり団体等の活動支援強化

##### ①山北地区の地域づくりに取り組む団体等（以下、団体等）の活動に対し、資金や人材、あるいは情報発信等による支援

- ・地域づくり団体等活動支援事業

##### ②団体等が連携し、情報共有あるいは互いの繋がりを育むための支援

#### ○地域の団体等と連携した地域課題の解決に向けた取り組みを推進

##### ①各種団体等と連携した地域の日常生活の支援につながる取り組みを推進

- ・買い物困難者支援事業（買い物ツアー、ゆり花マルシェ）

##### ②各種団体や事業者、あるいは地域と連携した地域の課題解決に向けた取り組みを推進

- ・地域産物流通促進事業（軽トラ市）
- ・各種団体等による情報共有と連携強化

### (3) 地域を担う人材の育成を支援【地域リーダーズ部会担当】

#### ○地域を担う人材の育成

##### ①山北地区内の地域づくりの成果発表や研修の機会を継続し人材育成を支援

- ・地域づくり楽習会の開催

##### ②先進事例視察等による外部の取り組みの研修による地域づくり意識の向上を図る人材育成の支援。役員、部会員だけでなく会員（住民）と共に

##### ③集える場所づくりと仕掛けづくり支援による人材育成

- ・共助に向けた集い場支援

#### ○地域の未来を担う子どもたちの育成

##### ①地域の力を活用し、地域を学び考える機会を支援

##### ②子どもたちが地域へ関わり活動する取り組みを推進するための支援

- ③小学校から中学校を通じ、地域を学び地域の未来を考える仕掛け等への支援
  - ・山北地区地域の担い手育成事業（山北中学校区郷育事業との連携）
  - ・地域の担い手のまちづくりへの参画支援事業

#### （４）未来の山北地区に向けた関係人口に関する事業を促進

- 地域の人材、生業等を活かした取り組みによる関係性を構築する事業を促進
  - ①受け入れ主体の拡充を図る
  - ②地域と連携した活動を継続し、主体的に実施できる団体等へ移行を図る
    - ・百姓やってみ隊推進事業
  
- 短期的な地域滞在による関係性を構築する事業を促進
  - ①実施地域の情報発信を進め、取り組みの横展開を図る
  - ②短期的な受け入れを進めつつ、以後継続的に関わられる仕掛けづくりも進める

#### （５）山北地区まちづくり協議会の安定運営

- 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供
  - ①情報発信が主体的に実施できる体制づくりを第３次計画内で検討し進める
    - ・まちづくり通信の発行
    - ・集落行事カレンダーの発行
    - ・ホームページ、SNSを活用した情報発信
  
- 活動拠点の整備を推進（プロジェクトチームにより検討）
  - ①山北地区まちづくり協議会の将来像を踏まえ、具体的な拠点構想に見える化するため、拠点整備の実現に向け第３次計画内で検討を進める
  
- 関係人口に関する事業の再構築（プロジェクトチームにより検討）
  - ①これまでの取り組みを継続しつつ、将来を見据えた事業の在り方を再考し、より実効性のある事業及び支援となる取り組みを検討する
  
- 計画実現に向けた組織体制の再構築（プロジェクトチームにより検討）
  - ①これまでの体制を踏襲しつつ、総会・理事会・各部会構成等の在り方を再考し、より実効性のある体制づくりを検討する

### 3 その他

#### （１）各種会議等への出席

- 地域まちづくり組織情報交換会（役員、事務局）
- 日沿道山北地区活性化促進協議会への出席（役員、事務局）
- その他各種会議等への出席（三役）

#### （２）その他

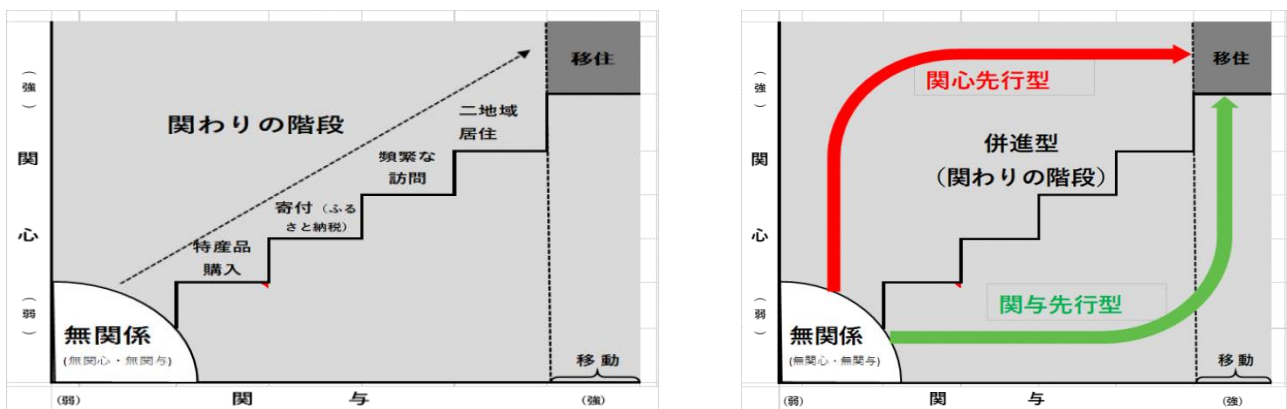
- 各種地域づくり団体等の視察受け入れ（役員、事務局）

# 令和5年度百姓やってみ隊推進事業 実施計画（案）

## 1 実施主旨

百姓やってみ隊では、これまでの取り組みを継続・発展させ、都市部等からの参加者に、農業体験を切り口として山北地区に関心を持ってもらい、年間を通じた体験交流型の活動等を通じて、集落や住民との多様な関わりを持つ関係人口へと導く窓口機能を担います。これにより、山北地区への「関心」「関与」を並行して強めるとともに、年間を通じた頻繁な訪問より、二地域居住や移住へと向かう段階、いわゆる「関わりの階段」の段差を低くすることを目指します。活動には、山北地区の住民にも活動に参加してもらうこと、また地域において行う活動や交流を通じて、地域への誇りの醸成についても取り組んでいきます。

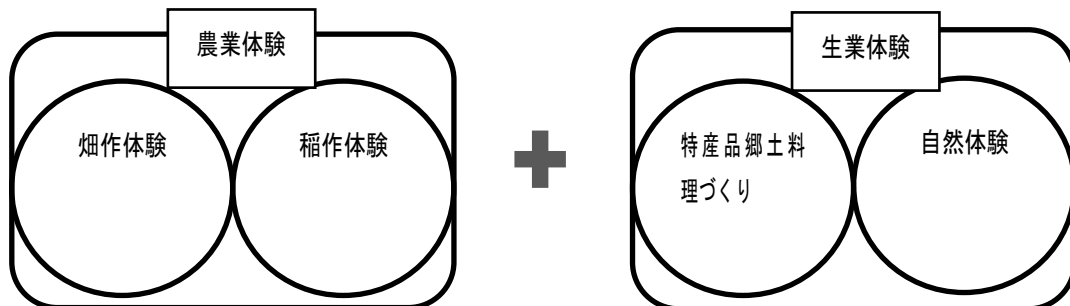
- ・集落や住民との多様な関わりを持つ関係人口へと導く窓口機能
- ・二地域居住や移住へ向かう段階を示すいわゆる「関わりの階段」の段差を低くする
- ・地域への誇りの醸成



図：明治大学農学部小田切教授「地域づくりの集い」資料より

## 2 活動概要

百姓やってみ隊では、「さんぼく暮らし半農半 X(エックス)※」をコンセプトに、農業体験のほか、生業体験として、伝統文化、人や風土、自然に触れる体験を取り入れた体験交流型の活動を行います。また、おためし移住体験として山北地区に短期滞在することも勧奨します。



※ 半農半 X(エックス):個人でできる大小様々な複数の仕事で生計を立てる新しいライフスタイル。自分や家族が食べる分の食料は小さな自給農でまかない、残りの時間「X」は自分のやりたいことに費やすという生き方です。農のある暮らしをしながら、自分が大切だと思うこと、好きな仕事をすることで、精神的に満たされるという、この半農半エックスという暮らし方は、収入が減少しても心豊かな暮らしをしたいという人たちから共感を集めています。

## 農業体験

農業体験では、百姓やってみ隊畑での野菜の栽培や、焼畑などに取り組み、収穫することの喜びや自分で栽培したものを食べる楽しみなどを感じていただきます。田植え・稲刈りでは、集落の体験交流イベントへ参加し、人のつながりを創出します。また、さんぽく軽トラ市に出店し、地域の方と触れ合いながら、新鮮で安心安全な野菜を販売します。



## 生業体験

生業体験では、笹川流れ波物語りの体験メニューを利用した特産品や郷土料理づくり、地域の方の指導による林業体験、集落の体験交流イベントへの参加を通じて、山北地区の伝統文化、人や風土、四季折々の自然を感じられる体験や活動に取り組みます。

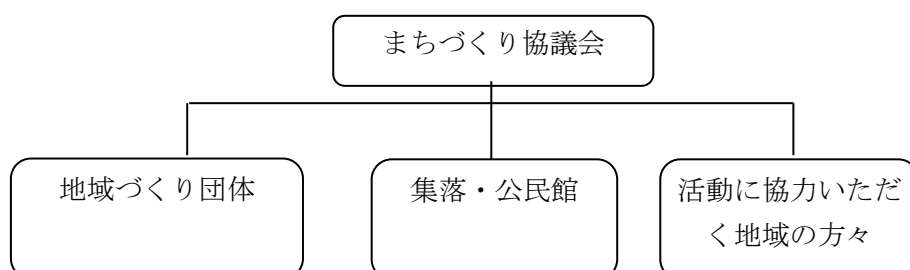


### 3 募集概要

- (1) 募集対象：村上市外または山北地区に住所があり、次のようなことに関心のある方  
「田舎暮らし」「地域資源を活かした起業」「豊かな自然環境」「人との交流」
- (2) 募集人員：村上市外 10人 山北地区内 10人 程度
- (3) 参加費：1回（2日間）の活動につき 1,000円程度
- (4) 日程回数：令和5年5月～12月 2日間×8～10回（予定）

### 4 実施体制

まちづくり協議会が窓口となり、地域づくり団体や集落・公民館、活動にご協力いただく地域の方などで構成する「さんぽく暮らし応援プロジェクト」を組織し、活動します。



令和5年度 収支予算（案）

山北地区まちづくり協議会

【収入の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 繰越金	1,990,288	2,054,241	-63,953	※8,500,000×25%以内
2. 補助金等	8,707,000	8,795,000	-88,000	
1 まちづくり交付金	8,707,000	8,795,000	-88,000	村上市から
2 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	0	0	0	
1 賛助会費	0	0	0	
2 事業負担金等	0	0	0	
4. 事務職員負担金	0	0	0	
5. 受託金	0	0	0	
6. 繰入金	26,313	951,000	-924,687	住民懇談会推進積立金25,313円 積立金利子1,000円
7. 雑収入	399	759	-360	預金利息
合計	10,724,000	11,801,000	-1,077,000	

【支出の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 運営費	1,240,000	1,538,000	-298,000	
1 社会保険料	0	0	0	
2 賃金	0	0	0	
3 報償費	207,000	207,000	0	会長ほか役員の事業参加等の費用弁償分として
4 旅費	0	0	0	
5 交際費	10,000	10,000	0	慶弔費
6 消耗品費	143,000	139,000	4,000	印刷用紙、コピー用紙、プリンタトナー等
7 会議費	103,000	103,000	0	会議時お茶代、協議会委員研修会費等
8 印刷製本費	33,000	44,000	-11,000	封筒印刷代
9 通信運搬費	114,000	114,000	0	会議案内等郵送料等
10 手数料	2,000	2,000	0	事業支援金振込手数料等
11 使用料及び賃借料	76,000	76,000	0	インターネット回線使用料
12 備品購入費	25,000	200,000	-175,000	wi-fiルーター
13 負担金及び交付金	20,000	20,000	0	会議負担金等
14 委託料	0	0	0	
15 保険料	27,000	27,000	0	ボランティア活動保険
16 活動拠点施設費	480,000	596,000	-116,000	活動拠点施設水道光熱費、施設賠償保険料等

項目	本年度	前年度	増減	説明
2. 事業費	9,063,000	9,842,000	-779,000	
1 コミュニティ支援・連携の推進	4,190,000	5,076,000	-886,000	
1-1 集落活動支援による地域力の再生	4,040,000	3,951,000	89,000	集落の元気づくり支援、公民館活動支援
1-2 集落、地域の持続可能性の向上	150,000	1,125,000	-975,000	集落・地域懇談会
2 各地域づくり団体の支援・連携の推進	2,274,000	2,000,000	274,000	
2-1 地域活性化に取り組む団体の支援と育成	1,400,000	1,200,000	200,000	地域づくり団体等支援事業
2-2 地域づくり団体との連携推進	874,000	800,000	74,000	買物困難者支援事業、地域産物流通促進
3 地域人材育成の推進	940,000	1,060,000	-120,000	
3-1 地域を担う人材を育成	440,000	540,000	-100,000	地域づくり楽習会、先進地視察研修、集いの場づくりに関する事業
3-2 地域の未来を担う子どもたちの育成	500,000	520,000	-20,000	地域の担い手育成事業、まちづくりへの参画
4 関係人口に関する事業の促進	1,116,000	1,183,000	-67,000	
4-1 地域の人材、生業等を活かした取り組みによる関係性を構築する事業を促進	1,016,000	971,000	45,000	百姓やってみ隊推進事業
4-2 短期的な地域滞在による関係性を構築する事業を促進	100,000	212,000	-112,000	関係人口に関する取り組み
5 山北地区まちづくり協議会の安定運営	543,000	523,000	20,000	
5-1 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供	523,000	523,000	0	まちづくり通信発行、行事カレンダー発行
5-2 活動拠点等の整備を推進	20,000	0	20,000	関係人口、拠点整備、組織体制検討プロジェクトチーム
3. 積立金	400,000	400,000	0	まちづくり協議会拠点施設整備積立金300,000円 関係人口構築推進基金100,000円
4. 繰出金	1,000	1,000	0	積立金利子を積立金へ繰出し
5. 予備費	20,000	20,000	0	
合計	10,724,000	11,801,000	-1,077,000	

収支差引なし 0

※1 予算を流用する場合は、役員会の承認を得て行い、理事会に報告する。

令和5年度 百姓やってみ隊推進事業収支予算（案）

山北地区まちづくり協議会

【収入の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 繰入金	1,016,000	971,000	45,000	まちづくり協議会会計から
2. 補助金等	0	0	0	
1 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	80,000	80,000	0	
1 会費	80,000	80,000	0	1,000円/回×10名×8回
2 事業負担金等	0	0	0	
4. 事業収入	0	0	0	
5. 雑収入	0	0	0	
合計	1,096,000	1,051,000	45,000	

【支出の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 運営費	0	0	0	
1 事務局員負担金	0	0	0	
2. 事業費	1,096,000	1,051,000	45,000	
1 活動実習	857,000	812,000	45,000	
1-1 実習地・活動拠点管理作業報償費	594,000	534,000	60,000	実習地除草作業謝礼
1-2 実習地借上げ謝礼	29,000	18,000	11,000	実習地の借上げ、水利利用謝礼
1-3 活動拠点施設	0	0	0	施設賃借料、水道光熱費、電気料、光回線等
1-4 指導員謝礼	14,000	4,000	10,000	畑作業指導謝礼
1-5 機器損料	21,000	21,000	0	軽トラ、農機具借り上げ
1-6 需用費	75,000	75,000	0	肥料、種苗、資材、燃料等
1-7 修繕料	60,000	20,000	40,000	実習地扉修繕
1-8 原材料費	30,000	50,000	-20,000	電気柵補修用材料等
1-9 役務費	30,000	59,000	-29,000	隊員活動保険、郵送用切手
1-10 負担金	4,000	4,000	0	軽トラ市出店料
1-11 備品購入費	0	27,000	-27,000	
2 生業体験	239,000	239,000	0	
2-1 体験料・指導員謝礼	173,000	173,000	0	林業、シーカヤック、隊員企画等
2-2 材料費	66,000	66,000	0	林業、釣り体験、隊員企画等材料費
3. 繰出金	0	0	0	
4. 予備費	0	0	0	
合計	1,096,000	1,051,000	45,000	

収支差引なし 0

※予算を流用する場合は、役員会の承認を得て行い、理事会に報告する。